

6次産業化の取組事例 【和歌山県那智勝浦町】

1. 地域農業の状況

- 那智勝浦町は、和歌山県の南東部に位置し、東は黒潮洗う熊野灘を臨み、また太地町にも接しており、北は新宮市、西は串本町や古座川町に接している。
- 町面積は、183.45km²であり、山地と丘陵地を合わせた面積が総面積の約90%を占めている。
- 海岸線はリアス式で、勝浦港など天然の良港を有し、また名勝「紀の松島」など見事な景観を展開している。



- 那智勝浦町は、水稻を主要作物としているが、中山間地域では小規模零細経営が多く、担い手不足や高齢化、鳥獣被害等により耕作放棄地が増加している。
- 地域の基幹作物である水稻に新たに施設野菜を組み合わせる経営形態を提案するため、当地域に適した施設野菜の種類、作型などの研究を進め、若者が生計を立てられるような経営のモデルづくりを検討している。

耕地面積	341ha	総農家数	434戸
田耕地面積	264ha	自給的農家数	251戸
畑耕地面積	77ha	販売農家数	183戸

資料：耕地面積統計（H26年）、2010年農林業センサス（農林水産省）

2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体	JAみくまの	地区名	下里第2地区
再生面積	0.25ha	取組年次	平成24年5月～H26年3月
作付作物	さつまいも	販路	JAみくまの等

（1）耕作放棄地解消に向けた取組内容

- JAみくまのが取組主体となり、平成23年度より耕作放棄地の解消のため、JA担当者が土地所有者と権利設定の調整を行い、耕作放棄地の再生作業を行った。
- 〔H23年度：下里地区〕 再生面積：0.3ha 作物：ほうれんそう等
- 〔H24年度～H25年度：下里第2地区〕 再生面積：0.25ha 作物：加工用さつまいもの試験栽培

（2）6次産業化に向けた取組

- 下里第2地区において、新たな特産品作りとして、さつまいも導入に向けた試験栽培、加工品（干し芋）の試作を行った。

【取組内容】

- ・平成24年度 加工品試作、生産拡大に向けた加工研修会
- ・平成25年度 加工品試作、商品化に向けたパッケージ作成、製品アンケート調査

今後は、本事業により建設した施設や再生した農地を、新規就農予定者、定年帰農者などの研修場所としての活用を進め、農地活用の担い手を育成することで、地域の農地保全や農業振興に活かしていきたいと考えている。



【加工状況】



【試作品製造】



【試食アンケート】

活用した支援策

H23～25 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国）（再生作業、経営展開）